

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の急変時や事故発生時の対応マニュアルは作成されているが、初期対応、応急手当については個々の職員の力量に差があり実際の対応には不安がある。	利用者の急変時や事故発生時において、対応マニュアルに沿って、全ての職員が的確な初期対応と応急手当ができるようになる。	法人の近隣施設と合同で救急蘇生法(AEDの取り扱い)講習を開催し、職員全員の受講を促す。また、ホーム独自でも職員の不安材料を具体的に話し合い、看護師の協力を得ながら応急手当や蘇生術など初期対応の訓練を繰り返し実施する。	6ヶ月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけているとは言えない。また、地域との協力体制も構築している段階である。	火災以外にも起こりうる地震、津波、水害等の災害時の避難マニュアルを見直し、利用者が安全に避難できる方法を全職員が理解し、訓練を通し身につける。さらに、地域との協力体制についても確立する。	火災、地震、津波、水害等の避難マニュアルをより具体的なものに見直し、それに基づき火災については年2回の夜間想定訓練を行い、自然災害に対しても年1回以上避難訓練を実施する。また、地域の協力を得られるよう、運営推進会議を通じて引き続き協議していく。	6ヶ月